

令和7年度 自己評価シート【中目黒住区センター児童館】

1、福祉サービスの基本方針と組織

1-1 理念・基本方針

1-1-(1)

理念、基本方針が明文化（児童館内の文書や広報媒体（パンフレット、ホームページ等））され周知が図られている。

【判断基準】

- (a) 児童館の理念、基本方針が適切に明文化されており、職員、利用者等への周知が図られている。
- (b) 児童館の理念、基本方針が明文化されているが、内容や周知が十分ではない。
- (c) 児童館の理念、基本方針の明文化や職員、利用者等への周知がされていない。

【自己評価】

実践例（取組や記録等）

a)、 b)、 c) 児童館の理念や基本方針は、パンフレットに記載しています。今年度は一時移転による縮小開館のため、周知に不十分な点がありました。

1-1-(2)

理念、基本方針の確立・周知について

良いと思う点	改善が必要だと思う点
年間事業計画作成の際に理念や基本計画を確認し、事業計画に反映しています。地域の方や乳幼児等の保護者には、機会を捉えて児童館の理念や方針を説明しています。	児童館の理念や基本方針を職員が理解し事業に十分生かしているか事業後の振り返りを丁寧に行っていく必要があります。

2、児童館の活動に関する事項

2-1 児童館の理念・目的及び施設特性

2-1-(1)

児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の理念と目的を、自館の基本理念や基本方針等に盛り込んでいる。

【判断基準】

- (a) 児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の理念と目的を、自館の基本理念や基本方針等に盛り込んでいる。
- (b) 児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の理念と目的を、自館の基本理念や基本方針等に盛り込んでいるが、十分ではない。
- (c) 児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の理念と目的を、自館の基本理念や基本方針等に盛り込でない。

【自己評価】

実践例（取り組みや記録等）

a)、 b)、 c) 年間事業計画作成の際に、ガイドラインや運営指針をふまえた事業目的を設定し、一時移転に則した事業計画を立案、運営しています。

2－1－（2）

児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の施設特性を發揮している。

【判断基準】

- (a) 児童館の施設特性を發揮している。
- (b) 児童館の施設特性を發揮しているが、十分ではない。
- (c) 児童館の施設特性を發揮していない。

【自己評価】

実践例（取り組みや記録等）

<input type="checkbox"/> a)、 <input checked="" type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	今年度は、一時移転先での運営となつたため、使用できる設備や時間帯に制限はありますが、設備や機能を活かした遊びや活動を展開し、安心して楽しく過ごせる居場所の提供に努めています。地域ボランティアや民生児童委員の協力による乳幼児事業を展開し、大人同士の関係作りにも努めています。
--	--

2－1－（3）

子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。

【判断基準】

- (a) 子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。
- (b) —
- (c) 子どもの権利擁護に関する取組が十分ではない。

【自己評価】

実践例（取り組みや記録等）

<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	出張児童館事業の中で「子ども会議」を開き、目黒区子ども条例についての啓発や子どもからの意見集約を行いました。会議で出された意見は、事業や遊びに反映させています。日々の子ども対応においても、人権に配慮した関わり方をするよう職員全員が努めています。
--	--

2－1－（4）

児童館の理念・目的及び施設特性について

良いと思う点	改善が必要だと思う点
活動に制限がある施設においても、新たな事業を展開し、児童館の施設特性である異年齢が関わったり、一緒に遊んだりできる機会を作り子どもの豊かな育ちを援助しています。	より多くの子どもたちが事業に参加できるよう、更にPRしていくことが必要です。

2－2 遊びによる子どもの育成

2－2－（1）

子どもの発達の特徴や発達過程を理解し、一人ひとりの心身の状態を把握して子どもの育成を行っている。

【判断基準】

- (a) 子どもの発達の特徴や発達過程を理解し、一人ひとりの心身の状態を把握して子どもの育成を行っている。
- (b) 子どもの発達の特徴や発達過程を理解し、一人ひとりの心身の状態を把握して子どもの育成を

<p>行っているが、十分ではない。</p> <p>(c) 子どもの発達の特徴や発達過程を理解していない。</p>	
【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	子どもと接する際は、会話や遊びを通して一人ひとりの心身の状態等を気にかけながら状況を把握し、その様子を職員間で共有しながら、子どもの育ちを援助するよう努めています。
<p>2-2-(2)</p> <p>子どもが自ら遊びを作り出したり遊びを選択したりできるようにしている。</p>	
【判断基準】	
(a)	子どもが自ら遊びを作り出したり遊びを選択したりできるようにしている。
(b)	子どもが自ら遊びを作り出したり遊びを選択したりできるようにしているが、十分ではない。
(c)	子どもが自ら遊びを作り出したり遊びを選択したりできるようにしていない。
【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	「子ども会議」や事業の中で子どもから寄せられた意見を取り入れて、事業の中で遊びを選択できるようにしています。
<p>2-2-(3)</p> <p>子ども同士が同年齢や異年齢の集団を形成して、様々な活動に自発的に取り組めるように援助している。</p>	
【判断基準】	
(a)	子ども同士が同年齢や異年齢の集団を形成して、様々な活動に自発的に取り組めるように援助している。
(b)	子ども同士が同年齢や異年齢の集団を形成して、様々な活動に自発的に取り組めるように援助しているが、十分ではない。
(c)	子ども同士が同年齢や異年齢の集団を形成して、様々な活動に自発的に取り組めるような援助を行っていない。
【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	児童館まつりや出張児童館事業を通じ、子どもが集団の中で仲間と協力してコーナーを運営したり、遊びを展開したりして自発的に活動に取り組めるように援助しています。
<p>2-2-(4)</p> <p>遊びによる子どもの育成について</p>	

良いと思う点	改善が必要だと思う点
事業において、子ども一人ひとりの発達に応じた適切な働きかけを行うように心掛けています。また、事業立案に際しては、子ども同士が遊びや取り組みを通して成長し合えるようにというねらいを持って、プログラムを立てています。	遊びの場や継続的な活動の設定をする機会が少なく、子どもたちを育成するまでに至っていません。

2－3 児童館の安全管理

2－3－（1） 緊急時（事故、感染症の発生時など）の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	
【判断基準】	
(a) 利用者の安全確保のために、体制が整備され機能している。	
(b) 利用者の安全確保のために、体制が整備されているが、十分に機能していない。	
(c) 利用者の安全確保のために、体制が整備されていない。	
【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	事故や怪我などの緊急時の連絡先や地域の医療機関等についてあらかじめ把握して職員で共有しています。また、近隣火災が起きた際は、児童が安全に帰宅できるように、児童館と学童保育クラブで連携協力しました。
2－3－（2） 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	
【判断基準】	
(a) 利用者の安全を脅かす事例を組織として収集し、要員分析と対応策の検討を行い実行している。	
(b) 利用者の安全を脅かす事例を組織として収集しているが、要員分析と対応策の検討が十分でない。	
(c) 利用者の安全を脅かす事例を組織として収集していない。	
【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	毎月1回の防災・避難訓練を実施しています。訓練は地震、火災、水害、不審者侵入等、様々な状況を設定し、警察署の協力も得ながら充実した訓練になるように工夫しています。合わせて月1回、利用時の保護者向けにも安心でんしょばとの配信訓練や災害用伝言ダイヤルの体験利用を促しています。